

神戸労働学校開設ノ件

昭和六年八月森戸辰男ヲ委員長トシテ開校シタル神戸労働学校ハ維持費缺乏ノ爲メ昨年一月休校シ今日ニ及ビタルガ當時同校主事タリシ中川光太郎ハ之カ復活ヲ計畫シ五月五日高野岩三郎宅ニ於テ森戸辰男、河上丈太郎、平佐三郎、阪本勝等ト會合協議ノ結果高野岩三郎ヲ委員長ニ推シ役員規約、授業科目、講師ヲ別紙ノ如ク決定シ神戸市兵庫區瀧町三丁目二五中川光太郎方ヲ假校會トシ二十四日夜開校式ヲ舉行シ愈々授業ヲ開始スルコトニナツタ當日開校式ノ模様左ノ如シ

記

- 一日 時 昭和八年五月二十四日夜
- 二場 所 神戸市兵庫區瀧町三ノ二五 中川光太郎方
- 三出席者 講師 森戸辰男 都竹要次郎
生徒 神田喜太郎 外二十二名

夙開會ノ辭 主事 中川光太郎

過去十年ニ且リ此種學校ノ經營ハ各種ノ事情ニヨリ非常ニ困難ナル経路ヲ辿リ今日ニ及ビタルガ今回本校ノ再建ヲ見タル事ハ欣快デアル今日無産陣營ハ振ハザル状態ニ置キ幸ニ本校開校ノ主旨ニ賛同セラレ熱心ナラシメテトア開會ヲ宣ス

講師(海員協會理事) 都竹要次郎

指導ノ先覺者タル高野、森戸、其他ノ諸先生ヲ以テ茲ニ開校ノ進ビニ至ツタ事ヲ心カラ祝福スル、現在ノ非常時ト謂フ言葉ハ香々無産者ノ立場トシテ最も好奇心ヲ以テ觀察シテ居ルモノデアアルガ要ハ資本主義末期ノ行詰リヲ打破セムトスル好手段ナリト認ム、將來、社會運動ノ基礎ヲナス諸君ガ譲リナキ認職演義ニ努メラル